

福島事故原発製造者 世界 1 万人訴訟への支持と参加のメッセージ

福島原発事故以後、日本各地で展開されている脱原発市民運動は、この 21 世紀に人類が脱核社会へと向かう重要な過程として理解しています。この運動に支持と激励を送り、さらに製造者訴訟に参加して下記の意向を明らかにします。

1. 今年 6 月、脱核アジア平和のために韓国の全原発地域を共に訪問し、対話し、交流した韓日（日韓）市民たちの活動を誇りに思います。このことを通じて、今こそ原発製造者を対象とする訴訟にも力を合わせ、共同対応することが必要だという点を確認しました。
2. 福島原発製造者である東芝・日立・GE の責任を問う訴訟は、この間、原発を拡散することに重要な役割をしてきた核産業界全体の責任を問うことであり、無責任な核発電を止めさせるための活動であることを確信します。
3. 原発製造者の責任を問う韓国市民訴訟団は、NNAA の訴訟に参加するだけでなく、アジア各国の市民社会におけるこのような連帯を通じて、アジア脱核運動として発展することを期待します。
4. 福島原発事故の処理と対策過程で見た、東京電力と日本政府の態度に失望と憂慮が大きく広がっており、今こそその責任を明確に問うことを明らかにします。
5. 私たちは、原発製造者が危険な核発電所を拡散するのではなく、平和で持続可能なエネルギー産業を担う企業として転換すること促し、日本政府もまた原発ゼロ政策を通じて、平和憲法で明らかにされている人類平和のために努力するよう願います。

2013 年 8 月 31 日